

中北部に銀輪の風

2千人新春の快走

センチュリーラン2014

第5回美ら島オキナワセンチュリーラン2014（主催・同実行委員会・協力・沖縄タイムス社など）が19日、恩納村コミュニティセンターを発着点に開かれ、国内外から過去最多の2005人がセンチュリー（160キロ）、古宇利島・桜（100キロ）、スイート（60キロ）の3コースにエントリー、新春の中北部を自転車で満喫した。

那覇市の奥間敦彦さん（24歳）はセンチュリー初参加で「一緒に走った県外の人たちと友達になり、会話を楽しめながら完走した」と満足。兵庫県の有川裕之さん（54歳）はチーム9人で100キロはチーム9人で100

キロに参加、海岸線沿いを走り、咲き始めた桜も楽しみ、「古宇利大橋から見たエメラルドグリーンの海が印象に残る」と来年もチームで参加する考え。

名護市の砂川由香利さん（34歳）は友人で恩納村の楠本寛子さん（34歳）と60キロに参

加。コース途中に地元特産品を使った菓子が用意され、「カフーリゾート」恩納村のロールケーキがおいしくて疲れが癒やされた」と声を弾ませた。

参加者最高齢で大会連続出場の石沢弘文さん（81歳）が、「参加者同士の触れ合いや車で味わえない景色が自転車で楽しめる」と魅力を語った。

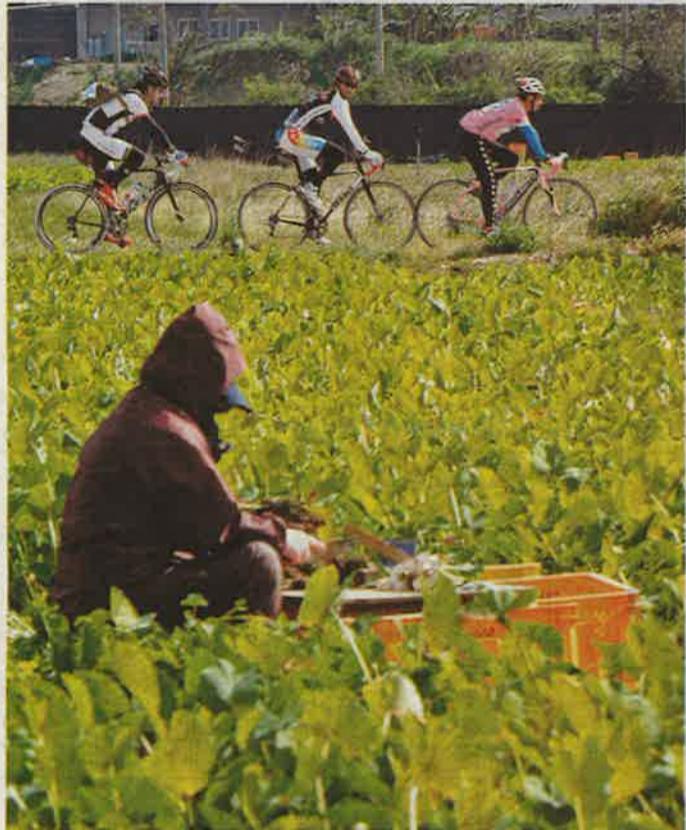
海からの冷たい強風に耐えながら走り抜ける参加者＝名護市喜瀬（伊藤桃子撮影）

爽快



田園

田芋の収穫が行われる田園を軽やかに走る＝金武町金武（我喜屋あかね撮影）



絶景背にペダル軽く



坂道

古宇利大橋を背に急な坂道を一気に駆け上がる＝名護市・屋我地島（我喜屋あかね撮影）

気勢



スタートを前にガンバロー唱で完走を誓う参加者＝恩納村コミュニティセンター（伊藤桃子撮影）



舌鼓

「おいしそう！」ロールケーキや紅イモタルトのスイーツに舌鼓＝恩納村・カフーリゾートチャックコンドホテル（伊藤桃子撮影）